

# 読書の輪

(第56号 2019年1月)

発行/NPO法人ながれやま栞

(理事長 佐藤奈津代)

<http://www.nagareyamashiori.org>



＝読書活動団体や市民相互間の情報交換広場＝皆様からのご投稿をお待ちしています。

## 「約2千年前の名言に学ぶ」

本を読もう流山の会 鈴木光治

『高校生が感動した「論語」』（祥伝社新書06年）から名言を紹介します。論語は孔子と弟子達の言行録で今でも通用します。著者の佐久 協(やすし)さんは高校で35年間漢文を教えた方。

1.「孔子の留守中に馬小屋が丸焼けになったことがあった。召使いたちは馬を死なせてどれほど叱られるかと蒼くなったが、朝廷から戻ってきた先生は話を聞くなり、『で、怪我人は出なかったのかい』と質問されたが、馬については一言も触れなかった。」(271頁)

日本の指導者も、孔子のように国民の生活と健康と命を大事にしてほしい。

2.「共に語り合うべき時に語らないと、せっかくの話し相手を失ってしまう。」(152頁)

昭和大恐慌で父の東京での事業がつぶれ、一家離散。私は伯父の家に引き取られたが、何の話もなく、大好きな山盛りのアンコ餅を指の間からのぞきながら泣き続けました。

あの時父が「必ず迎えにくるよ」と言ってくれたらよかったのに。小学校1、2年と漁村だった伊東で幼い懐疑派が育ちました。

3.「本当に能力のある者はむやみに他人と競争しないものだ。」(65頁)

著者はこの「解説」で「現代の日本では小さい頃から人と競わせ過ぎ、それがイジメ横行の一原因だろうと鋭い指摘。その通り！」

4.「弟子の子貢(しこう)が『近隣のすべての人から好かれれば良い人である証拠?』と尋ねたら『良い人に関して言えば、近隣の善人たちから好かれ、不善の者たちから憎まれるのが本当に良い人の証拠だ』(244頁)

5.「家老が『政治はどう行ったらよいか』と訊ねられたので『政は正と同じ意味です。あなた様が率先して正義を行えば、国民はみな正義を行うようになるでしょう』(226頁)

今年は選挙の年、選挙でガメツイ政治家でなく正しい政治家(憲法をしっかりと守る)を選び、主権者の力を見せましょう。

### 声

小さい子の質問には鋭いものがあります。イソップ寓話の「うさぎとかめ」のことです。

「どうしてうさぎはかめに負けたの?」その子は、うさぎがピョンピョン跳ねて雪原に足跡を残しながらも懸命にきつねから逃れる様子を知っているし、じっとしているかめが首を出し足を出しやうら歩き始める様子も知っているのです。そこで先の疑問は当然の事といえるでしょう。幾通りかの答えのひとつが、「うさぎはかめしか見ていなかった。かめはゴールの山しか見ていなかった。そこでうさぎは油断をし、かめは懸命に努めたから」

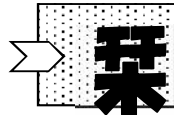
チコちゃんは、認めてくれるかな? 良い年となりますように! — 佐藤奈津代—

## 読書会活動等／地域情報

団体名	開催日時	場所	申込み	テーマ・課題	連絡・問合せ
あらた新読書会	1月24日(木) 13:00~	北部公民館 第1会議室	事前連絡お願いします	藤野可織著「爪と目」(新潮社)	井上(☎04-7152-2947)
流山読書会	2月13日(水) 13:00~	中央図書館 会議室	不要(直接会場へお越しください)	呉座勇一著「応仁の乱」(中央公論新社)	久保(☎04-7159-4608)
本を読もう流山の会	1月26日(土) 13:30~			吉野源三郎著「君たちはどう生きるか」(岩波書店)	鈴木(☎04-7150-3583)

本を読もう流山の会の2月公開例会はありません。

＝読み聞かせの葉＝



# 葉 おはなし活動

＝読書活動を推進する葉＝

予約なしで、ご参加頂けます。直接会場にお越しください。(入場料は無料です)

## 【図書館おはなし会】

\*中央図書館  
\*森の図書館  
毎週土曜15時から

## 【分館おはなし会】

\*南流山分館  
第1・2土曜15時～  
(第3・4も別団体が開催しています)



## 【赤ちゃんおはなし会】

～森の図書館～  
第1日曜と第2火曜  
11時～(50分間)  
(内容は月替わり)

## 【赤ちゃんおはなし会】

～南流山センター～  
10:30～(11:30頃迄)  
第4水曜日  
2階和室にて

## おはなし会のいろいろ

赤ちゃんおはなし会は、森の図書館和室にて11時からのおはなし会です。(上欄をご参照下さい)以前同じ月齢の男の子・女の子が一番乗りで来てくれた時、「アー」「ウー」とお互い立派な自己紹介ができました。赤ちゃんの表情はとても多彩で、まわりの大人は微笑ましいやら感心するやらの連続です。

30分位のおはなしタイムでは本やおはなしに楽しくふれあう場となるよう願ってプログラムを工夫します。また、長い間支持されている絵本・布絵本などを展示し好評です。

### プログラム例

絵本「ママだいすき」「にんじん」  
手遊び「だいこんさん」「どっちゃんかっちゃん」  
紙芝居「できたかな まーだかな」  
パネル「ぞうさんのぼうし」

葉の読み聞かせ※活動は、図書館をはじめ小学校・子育て支援施設・子育てサークル・地域イベントなどで行っております。



## 地域情報

※大人のための冬のおはなし会  
(日本・ノルウェー・ルーマニアなどの  
冬のお話を6つ)

1月25日(金) 10:30～12:00  
一茶双樹記念館(要入館料100円)  
参加費無料・申し込み不要  
問合せ 中嶋(04-7159-8256)

## ながれやま葉(しおり)のご案内

わたしたちは、地域の文化振興に少しでも役立つことを願い、書架整理や絵本の読み聞かせ、地域の草花の世話など、身近なところから会員同士が楽しみながら力をあわせております。本や人との出会いの喜びをご一緒に分かちあいませんか?入会は随時受け付けております。[入会・問合せ先/佐藤: Tel&Fax 04-7152-0066 矢口: Tel&Fax 04-7145-4868]

葉事務所/流山市若葉台3-131(ふれあいの家/えがお内) TEL&FAX 04-7170-0156